

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 ( 新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持 )

1 事務事業の基本情報																				
☑ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																				
事務事業名	交通安全施設管理経費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分		一般会計		款	2	項	1	目	11	事業	2
担当部	経済環境部	担当課	生活環境課	担当係	交通・防犯	係	作成者	増田 貴仁	内線(電話番号)	4411	シート作成日	H30.5.15	部長決裁日	H30.6.4						
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略			<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : )			根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : 常総市安全安心まちづくり条例, 常総市防犯灯の設置及び管理に関する要綱)												

2 事務事業の目的														
☑ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。														
現状課題	市民が安全・安心して生活できるように、交通環境の整備を継続的に行っているが、道路改良事業とともに交通安全施設を整備しなければならない危険箇所は、現在でも市内に相当数あることから、今後も計画的に整備していく必要がある。			誰・何を対象に	市民及び道路利用者			どのような方法・手順で	事故危険箇所を重点的に交通安全施設を整備した。					
望ましい状態	カーブミラー、防犯灯、デリネーター(反射器)、ガードレール、グリーンライン等の交通安全施設等について、設置及び撤去など、自治区長等からの要望の中から、工事が可能なもので、緊急対応が必要な案件について、優先的に対応していく。また、常総市通学路安全点検プログラムに基づき、順次、危険箇所について、計画的に整備を行っていく。													

3 事務事業の主たる成果指標														
☑ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	交通事故件数	単位	件	目標値	170	目標年次	平成 32 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	交通事故を減少させるためには、事故要因を分析し、効果的・効率的な対策を図っていく。					

4 事務事業の実績 ㊦														
☑ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。														
年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度							
	業務名			業務名			業務名							
事務事業を構成する主な業務	① 回転灯修繕	57件	① 回転灯修繕	23件	① 回転灯修繕	14件								
	② 防犯灯移設等	2件	② カーブミラー修繕	2件	② カーブミラー修繕	9件								
	③ 防護柵設置	6件	③ 防犯灯移設等	13件	③ 防犯灯移設等	4件								
	④ カーブミラー	27件	④ 防護柵修繕	2件	④ 区画線設置	8件								
	⑤ 防犯灯設置	17件	⑤ 区画線設置	13件	⑤ カーブミラー設置	23件								
	⑥ 区画線設置	3件	⑥ カーブミラー設置	33件	⑥ 防犯灯設置	7件								
	⑦ 回転灯設置	1件	⑦ 防犯灯設置	12件	⑦ 回転灯設置	1件								
	⑧ 防犯カメラ設置	1件	⑧ 防護柵設置	7件	⑧ 防護柵設置	5件								
	⑨ その他安全施設	9件	⑨ その他安全施設	12件	⑨ その他安全施設	7件								
	⑩		⑩		⑩									
	⑪		⑪		⑪									
	⑫		⑫		⑫									
目標値に対する実績値			266 件	目標値に対する実績値			190 件	目標値に対する実績値			203 件			
決算額	計	28,043,130 円	内訳	特定財源	8,663,000 円	一般財源	19,380,130 円	計	32,127,076 円	内訳	特定財源	8,747,000 円	一般財源	23,380,076 円
	(住民一人あたりの行政コスト)			453 円	(住民一人あたりの行政コスト)			528 円	(住民一人あたりの行政コスト)			322 円		

5 担当者評価 ㊧													
☑ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標未達成	H28年度は交通事故件数は下がったが、H29年度には増加してしまった。											
問題点	市内の交通安全施設整備については、市民等から毎年多数の要望があり、整備しなければならない案件が大量にあり、現予算の範囲では、すべての要望には応えられない状況である。												

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨													
☑ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	交通安全施設管理は、市民の生活基盤である安全安心を確保するため必要不可欠な事業であるため、緊急性のある案件が多いため、ゆるやかな拡充が必要と評価できる。												

7 実施計画 ㊩													
☑ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。													
年度	平成30年度			平成31年度			平成32年度						
事業内容	各自治区、地域団体及び学校から、カーブミラー、防犯灯、防護柵等の交通安全施設の要望があった場合、緊急性の高いものから順次計画的に整備を進めていく。			各自治区、地域団体及び学校から、カーブミラー、防犯灯、防護柵等の交通安全施設の要望があった場合、緊急性の高いものから順次計画的に整備を進めていく。			各自治区、地域団体及び学校から、カーブミラー、防犯灯、防護柵等の交通安全施設の要望があった場合、緊急性の高いものから順次計画的に整備を進めていく。						
	子供や高齢者が安心して外出できる地域社会の形成を目指すとともに、交通安全対策に対する市民満足度を向上させるために、施設整備を推進する必要がある。			子供や高齢者が安心して外出できる地域社会の形成を目指すとともに、交通安全対策に対する市民満足度を向上させるために、施設整備を推進する必要がある。			子供や高齢者が安心して外出できる地域社会の形成を目指すとともに、交通安全対策に対する市民満足度を向上させるために、施設整備を推進する必要がある。						
	現状では、交通安全施設の要望はいずれも必要な案件であるが、次年度に持ち越しとなっている状況であるため、事業費を確保し対応していきたい。			現状では、交通安全施設の要望はいずれも必要な案件であるが、次年度に持ち越しとなっている状況であるため、事業費を確保し対応していきたい。			現状では、交通安全施設の要望はいずれも必要な案件であるが、次年度に持ち越しとなっている状況であるため、事業費を確保し対応していきたい。						
	台風による交通安全施設の被害が予想以上であったことから、施設の老朽化が懸念されるため、今後、修繕が必要である。			台風による交通安全施設の被害が予想以上であったことから、施設の老朽化が懸念されるため、今後、修繕が必要である。			台風による交通安全施設の被害が予想以上であったことから、施設の老朽化が懸念されるため、今後、修繕が必要である。						
予算額算出基礎:平成30年度実績からの積算+平成30年度通学路安全点検結果による予想工事費+平成29年までの予算不足による未着手工事費			予算額算出基礎:平成30年度実績からの積算+平成30年度通学路安全点検結果による予想工事費+平成29年までの予算不足による未着手工事費			予算額算出基礎:平成30年度実績からの積算+平成30年度通学路安全点検結果による予想工事費+平成29年までの予算不足による未着手工事費							
予算額	歳出	計	28,728 千円	歳出	計	42,000 千円	歳出	計	42,000 千円				
		特定財源	9,000 千円		特定財源	7,700 千円		特定財源	7,700 千円				
	歳入	一般財源	19,728 千円	歳入	一般財源	34,300 千円	歳入	一般財源	34,300 千円				
		計	28,728 千円		計	42,000 千円		計	42,000 千円				

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については平成30年度の一般財源予算額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。安心安全な生活環境づくりを期待している。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事務事業の方向性													
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	交通事故がやや増加傾向にあり、地元などから要望があり、カーブミラー、防犯灯を増設する必要がある。また、横断歩道等の道路標示が見えにくくなっている箇所が多く見受けられるので、今後も交通安全対策を推進していくべきである。												

11 事務事業の改善理由 ㊫													
☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	交通安全施設の要望はいずれも必要な案件であり、次年度に持ち越しとなっている状況である。また、8月に実施した通学路安全点検(学校教育課、道路維持課、道路建設課、生活環境課、県土木事務所、常総警察署合同)においても、小中学校からの交通安全施設の要望があり、放置すれば重大事故につながる箇所も数多く見受けられた。児童、生徒の安全確保は不可欠であり、迅速な対応が必要となるため、事業の拡大が必要となる。												